

令和5年1月13日

第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会における
新型コロナウイルス対策ガイドライン

近畿高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国高等学校体育連盟から発出された新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

JBA バスケットボール事業・活動ガイドライン第5版（2022年5月12日作成）が公開されています。各チームでご参照くださいますようお願いいたします。

▼JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第5版

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf

1 大会運営全般について

- (1) 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所と予め検討しておく。
- (3) 万が一感染が発生したときには、保健所からの要請に従い、感染拡大防止に協力する。
- (4) 消毒等感染防止に必要な物品は、本専門部が準備する。
- (5) 全日程において、チーム応援団（保護者・ベンチ外メンバー等）には2階観客席に「チーム応援席」を確保します。チーム応援席は入替え制としますので、速やかな移動にご協力をお願いします。また、一般観客については2階観客席の決められた場所での観戦を認めます。
報道関係者等の方は入館の際、1階入口で受付を済ませてから入館してください。
- (6) チーム及び選手の参加可否は所属校長が判断する。

2 会場運営について

- (1) ハーフタイムアップはありとします。
- (2) 会場はこまめに換気をする。
- (3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。TO・CKの椅子・用具等の消毒は、TOを担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。
- (4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
- (5) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。
- (6) 更衣室を利用する際はマスクを着用し、会話を最小限にすること。滞在時間を短くするため更衣に限定した利用とすること。
- (7) 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- (8) チームで発生したごみは各チームで持ち帰ること。

3 参加者について

- (1) 参加者は、常時マスクを着用する。試合中も、ベンチにいるときは体調に留意しながらできるだけマスクを着用する。
- (2) アップ時のマスクなしでの掛け声や声を出しての応援は禁止する。(ベンチからの指示等は飛沫防止に十分配慮する。) 試合前後または試合中の握手、ハイタッチなどの接触は避ける
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。昼食時などマスクを外すときは、会話をしないように心がける。
- (4) 水分をこまめにとるなど熱中症予防を心がけること。なお、水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。
- (5) 参加者は、健康状態把握のために以下を実施してください。

ア) チーム関係者

- ①試合当日までに実施すること。

「健康チェックシート」(様式1)による健康観察【提出不要】

入館時に受付での確認や提出はありません。

大会前 2 週間における体温及び健康状態の把握に活用してください。自チーム試合開始日の4日前からの体調不良(有症状)者が出た場合には、該当者の参加は見合わせてください。チーム参加の是非については検討してください。

- ②試合当日、実施すること。

参加生徒、チーム関係者の体温・健康状態等を各チーム顧問が把握してください。

入館時に「名簿一覧表」の提出はありませんが、チームでまとまって入館してください。

イ) 大会役員・審判・報道関係者等

「健康チェックシート」(様式1)を活用して大会前・大会中の健康管理に努めてください。

入館時に受付での確認や提出はありません。

ウ) 観客(チーム応援団、一般観戦者)

観客入口から2階観客席へ入館してください。館内ではマスクを着用し、チーム関係者と接触はしないこと。また、飛沫感染防止の観点から下記の行為は禁止とします。

○大きな声で歌を歌う、大きな声を出しての応援、指笛

○バルーンスティック・メガホン・風船等の使用

- (6) 陽性者／濃厚接触者／体調不良者が判明した場合の対応について

JBAガイドライン第5版P18~20を御参照の上、P36~38のチーム対応フローを遵守して下さい。感染の恐れがある場合は、チームの出場辞退をお願いする場合があります。

「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては対戦チームに出場辞退をしていただく場合もあります。

4 その他

- (1) 感染拡大やチーム参加状況により、大会途中でも大会中止せざるを得ない場合があります。
- (2) 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。
- (3) 本ガイドラインの記載内容については、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者等に連絡し、遵守するようにしてください。